

2023 年 9 月 22 日
農 林 中 央 金 庫

お客様の脱炭素経営に向けたソリューション提供実施について

～株式会社八千代ポートリーにおける鶏卵生産に関する GHG 計測実施～

農林中央金庫（東京都千代田区・代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）は、お客様の脱炭素に向けた取組支援および農業・食品産業における地球温暖化問題の解決を目的に、株式会社八千代ポートリー（神奈川県横浜市・代表取締役社長：笠原政利、以下「八千代ポートリー」）およびそのグループ企業に対し、GHG 計測を実施することをお知らせいたします。GHG 計測には、アスエネ株式会社（東京都港区・代表取締役 CEO：西和田 浩平、以下「アスエネ」）の CO2 排出量見える化・削減・報告クラウドサービス「アスエネ」を活用いたします。

1. 背景

農業・林業・その他の土地利用由来の GHG の排出量は世界全体の 4 分の 1 を占めるともいわれており（※）、国際的な気候変動イニシアティブ「SBTi（Science Based Targets Initiative）」による SBT 認定を取得する民間企業・団体などからは、生産・加工・流通・消費など食農サプライチェーン全体における GHG 削減に強い関心が寄せられています。

（※）出典：農林水産省「気候変動に対する農林水産省の取組」

2. 本件概要

当金庫では、深刻化する気候変動への対応として、「投融資先等の GHG 排出量削減 2050 年ネットゼロ」を中長期目標の一つに掲げ、投融資先の脱炭素化の取組みを後押ししています。本件をはじめとした GHG 計測支援を通じて、生産・加工・流通段階を含めた GHG 排出量見える化し、サプライチェーン全体における GHG 削減にも貢献していきます。

八千代ポートリーグループでは、株式会社ユウファーム（千葉県成田市、代表取締役：笠原節夫、以下「ユウファーム」）にて雛を飼育・育成した後、株式会社横浜ファーム（神奈川県横浜市、代表取締役：笠原政利、以下「横浜ファーム」）にて生産された鶏卵を、八千代ポートリーが販売する一貫生産販売体制を敷き、国内のみならず海外にも販売先を展開しております。

鶏卵を生産・販売する経営体の GHG 計測・削減に対する支援は当金庫、アスエネともに「初」の取組みです。当金庫は八千代ポートリーの取組みが業界をリードし、食農サプライチェーン全体における GHG 削減に資するものと認識しており、引き続き八千代ポートリーをはじめとする GHG 削減に取り組む企業を支援していきます。

3. 取組内容

計測概要	アスエネの CO2 排出量見える化・削減・報告クラウドサービス「アスエネ」を活用し、八千代ポートリー・横浜ファーム・ユウファーム 3 社の GHG 排出量の見える化を実施
計測範囲	八千代ポートリー・横浜ファーム・ユウファーム 3 社それぞれのスコープ 1・スコープ 2・スコープ 3
計測開始時期	2023 年 9 月

【株式会社八千代ポートリーについて】

- 代表者：笠原 政利
- ホームページ：<https://www.yachiyo-egg.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 関東業務部 総括グループ（佐藤・片岡） TEL：03-6362-7175